



SNSって・・・

先日、3年ぶりにフル規格で開催されたマラソン大会に参加してきました。昔はフルマラソンに出ていたのですが、寄る年波と歩調を合わせ、数年前からは10kmの部に路線変更。大寒波も去り、晴天のもと気温も上がり絶好のマラソン日和となりました。痛めていた膝の心配があり途中からは歩く覚悟だったのですが、3か月通った整体のおかげでほぼ痛みもなく完走できたのが何よりの収穫でした。早速仲間と祝杯をあげながら、フェイスブックで友達関係者にお知らせしました。

動物園の仕事をするようになってから、様々な情報交換などのツールとしてこのSNSを利用していますが、現在進行の事柄を多くの仲間やネット利用者にリアルタイムで伝えられ、それに対するコメントなどの反応もすぐ返ってくるのがこうしたSNSの最大のメリットです。個人的にも、はるか何十年も前の大学時代の先輩後輩たちと時の流れを隔ててやりとりができるようになりました。ありがたやありがたや・・・と書いていたのですが、反面、最近はこちらのSNSの怖さも散見されるようになりました。

動物園ではこういうことがありました。動物園を訪れたお客様が、レッサーパンダ同士でちょっとした小競り合いが起こったのを動画に撮影し、SNS（ツイッター）にアップしました。すると、そのツイートに多くの反応があり、「普段は分けて展示しているのにどうして一緒にしたのか」といったお叱りの言葉がどどと。実は、獣舎内の構造上の問題で、飼育員の観察ではまったく問題なかったのですが、なんらかの拍子でそうした小競り合いが生じたものと思われます。しかし、その後もこまめに観察していますが、それ以降何の問題もなく過ごしています。また、当園のツイッターで3歳のクロサイが寝室で横たわる画像を載せたところ、「痩せすぎ」とか「ガリガリだな」とかのネガティブなコメントが多く寄せられました。このツイートは、目を開けたままの寝起きの姿を見てもらいたかっただけなのですが、あらぬほうから弾が飛んできた感じです。もちろん削瘦といった健康上の問題はまったく無く、食欲もあり、いたって元気なのですが。



《レッサーパンダたち》



《来園時のクロサイ「フー」》

先ほども言ったように、情報発信のツールとしてはこうしたSNSはとても有効で優れているとは思いますが、アップされる画像や動画は動物たちの行動のほんの一瞬をとらえたものに過ぎません。それだけでその動物の日常や健康状態などを判断されてしまう危うさもあります。ユーザーの方は、その画像や動画だけでしか判断できないことも重々承知して下さし、個人がどのようにコメントしても自由ではありますが、怖いのはそうしたコメントがネガティブであればあるほど追従するコメントが広がることです。いわゆる炎上です。今回そこまではいかないにしても常にそうした危険性を孕んでいるということを痛感させられました。

なお、日立市の施設である当園は、市の規定によりSNSは情報発信のみで、リプライやリツイートなど利用者等からの当該SNS上での回答は行わないことになっています。なお、メールでのお問い合わせがあれば、それにはお答えするようにしていますのでどうぞご理解下さい。

(園長 生江信孝)

2023年2月6日

過去の一覧

[令和6年](#)

令和5年

[令和5年11月](#)

[令和5年9月](#)

[令和5年7月](#)

[令和5年6月](#)

[令和5年3月](#)

[令和5年2月](#)